

学校便り



やさか小

浜田市立弥栄小学校
浜田市弥栄町長安本郷 325-1

～描き やりきり 創り出す～ 令和8年10月号(文責 毛利)

「描き やりきり 創り出す」⑥

～スプラッシュ！勝利への思いを胸に いざ決戦！～



9月27日(日)に小中合同運動会がありました。運動会に向けて子どもたちは、全校みんなでつながり合って、学年種目や開閉会式、応援合戦の練習をしてきました。取組の中で子どもたちの素敵な姿がたく

さん見られました。「本気」の姿です。

○5・6年生の下級生へのかかわり方

○応援練習の積み上げの中で変化していく5・6年生のアイデアとリーダー性

○5・6年生の言葉に耳を傾け、一生懸命応援練習に向かっている下級生の姿

○色別会で何度も粘り強く応援練習をくり返す子どもたちの前向きな姿

○暑い中でもたくましく練習に向かい、やりきろうとしている子どもたちの姿

○係の役割など、自分の役割を果たしきろうと努力している姿

「描いたこと」をチームのみんな・学級のみんなで「やりきり」、よりよい運動会を「みんなで創り出そう」としている姿をうれしく思いました。「スプラッシュ！勝利への思いを胸に いざ決戦！」という運動会スローガンに込められたみんなの思いを実現するための一つ一つの取組は、今後の学校生活を支える大きな経験になったと思います。

そして、子どもたちの頑張りや意欲、成長を促していくことができる本校の職員のことも、私にとって大きな誇りです。厳しさと共感の調和を大切にしながら子どもたちへの指導ができる職員です。子どもたちと職員が協働して、ともに創り上げた運動会でした。

保護者の皆様、地域の皆様には、大きなご声援をいただきました。子どもたちに元気を与えてくださいました。うれしさいっぱいの気持ちで運動会に参加することができたと思います。弥栄小学校では、今後も多くの教育活動を行っていきます。変わらぬご理解・ご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



全国学力・学習状況調査から

全国学力・学習状況調査の結果が戻ってきました。その結果を受けて、校内で分析検討会を行いました。

算数・国語ともに全国平均正答率と浜田市平均正答率に近い、また超えている弥栄小学校の6年生でしたが、小規模校ですので、一人の結果で大きく平均正答率は

変動します。そのため、「集団としての力をとらえる」分析ではなく、「個の力をとらえる」分析を行い、授業の方向性を協議しました。

個を見たときのつまずきとして、多かった問いのタイプが、

【国語】

○問いについて必要な情報を読み取り、条件に沿いながら文章記述をしていく。

【算数】

○2種の間接関係を、割合を視点としてとらえ、それを図で表現していく。

○二次元の表から求められている数値を読み取る。

こうした問いに対応できるようにしていくためには、

【国語】

○一つの問いに対して、「言葉や文章、場面の様子や人物の心情等」を根拠としながら思考したり、想像したり、表現したりしていく読みの学びができる授業を積み上げる。

【算数】

○問題文を具体や半具体（数ブロック、数直線、線分図、テープ図など）に落とし込みながら数量関係や問題場面、問いを解釈して自分の考えをまとめていく。そして、自分の考えを具体や半具体に返ししながら説明していくなどの学びができる授業を、低学年から積み上げる。

○他教科や日常の暮らしを算数の学びにつなげ、身近な場面を二次元の表などに表し、整理・活用していく経験を積み上げる（他教科等とのリンク）。

【共通】

○学年の系統を考えながら、単元を構成し、授業を組み立てる実践を積み上げる。

系統的な学びの積み上げをめざし、確かな資質能力を高めていきたいです。

小中連携教育とコミュニティスクール

弥栄中学校ブロック小中連携教育の主題「**学びと暮らしを創造する子どもの育成**」を立ち上げました。小中連携教育の中には、「授業づくり部」「学習習慣づくり部」「健康づくり部」「事務部」があります。上記の主題に向かっていくために、各部会で新たな取組を考えていくのではなく、これまでの取組を基盤に据えた取組をしていきたいと考えます。連携が目的ではなく、今年度の連携の主題である「**学びと暮らしを創造する子どもの育成**」のためのツールとして機能させていくことを大切にしていきたいと考えています。



第1回学校運営協議会

また、学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティスクール化を目指している浜田市でもあります。今ある地域の取組を学校運営協議会の組織の中で、小中連携教育の主題に向かってものとして工夫・改善・整理し、学校の取組と地域の取組が両輪となるしくみが整えられるとよいと思っています。学校の取組と地域の取組が一つの目的に向かっていくしくみが整えられると「**学校と地域のコミュニティの中で子どもを育てる**」というコミュニティスクールの構築に向けた効果的な取組にもつながると思います。この考えのもと、1学期に1回目の学校運営協議会を行い、どんな取組ができるのかについて意見交換をしました。

ここで出た意見をもとに、10月23日（金）には2回目の学校運営協議会を行い、今後のコミュニティスクールの取組を具体的に考えていく予定にしています。